

VI 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議をとおして地域の健康危機管理体制の整備、連携強化を図っている。

1 結核予防事業

令和3年末現在の新登録患者数は、40人で前年より19人減少しており、肺結核のうち喀痰塗沫陽性患者は13人であった。罹患率は8.2（人口10万対）、有病率は4.5（人口10万対）であった。結核患者の治療の完遂を図るため、個別患者支援計画に基づきDOTS（直接服薬確認療法）を中心とする患者支援を行っている。

（1）管内結核患者登録者数の動向

表1－（1）登録者数の年次推移（単位：人）

区分		年	平成 19年	平成 24年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
管内人口			448,496	463,995	477,226	479,234	481,033	484,286	487,834
新登録患者数			92	71	77	65	43	59	40
年末時登録者数			227	228	198	231	160	181	99
結核死亡者数	管内		3	2	3	2	-	1	5
	千葉県		54	51	89	82	62	68	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内		0.7	0.4	0.6	0.4	0	0.2	1.0
	千葉県		1.0	1.0	1.4	1.5	1.2	1.3	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内		20.5	15.3	16.1	13.6	8.9	12.2	8.2
	千葉県		18.8	14.1	12.1	12.0	11.1	9.8	8.8
有病率 (人口10万対)	管内		13.8	17.2	10.1	6.9	5.0	6.4	4.5
	千葉県		14.2	8.9	7.5	7.7	6.9	5.9	5.3

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万/人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万/人口

(2) 新登録患者数

表1 - (2) 新登録患者数(活動性分類別) (単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	(罹 人 口 10 患 万 対) 率	占 塗 肺 め る 抹 結 割 合 陽 核 (%) の 性 ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 体 者	の 結 核 死 亡 疑 い 体 者	
			計	陽 咳 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 陰 性								そ の 他 の 陰 性
令和元年		43	34	11	18	5	9	8.9	32.4	37	-	-	-	
令和2年		59	44	17	15	12	15	12.2	28.6	23	-	-	-	
令和3年		40	28	13	8	7	12	8.2	46.4	10	-	-	-	
習志野市		23	18	7	7	4	5	13.0	38.9	2	-	-	-	
八千代市		10	4	1	-	3	6	5.0	25.0	3	-	-	-	
鎌ヶ谷市		7	6	5	1	-	1	6.4	83.3	5	-	-	-	

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1 - (3) 年末時登録者数(活動性分類別) (単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	(有 病 人 口 10 万 対) 率	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別 掲)			
			計	計	陽 咳 登 録 痰 塗 性 抹 時	結 核 菌 陽 性 の 時	そ の 他 の 陰 性 の 時					そ の 他 の 陰 性 の 時	そ の 他 の 陰 性 の 時	治 療 中	観 察 中
令和元年		160	24	21	7	8	6	3	23	113	5.0	21	29		
令和2年		181	31	24	10	7	7	7	25	125	6.4	16	39		
令和3年		99	22	16	8	4	4	6	71	6	4.5	6	20		
習志野市		48	14	10	4	3	3	4	32	2	7.9	1	8		
八千代市		34	4	2	1	-	1	2	28	2	2.0	3	5		
鎌ヶ谷市		17	4	4	3	1	-	-	11	2	3.6	2	7		

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1 - (4) 新登録患者数 (年齢階級別) (単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
令和元年	43	-	1	6	7	6	5	5	8	5	-
令和2年	59	-	1	3	10	8	4	3	15	11	4
令和3年	40	-	1	5	4	1	4	2	11	8	4
習志野市	23	-	1	4	2	-	3	0	5	4	4
八千代市	10	-	-	1	2	1	1	2	1	2	-
鎌ヶ谷市	7	-	-	-	-	-	-	-	5	2	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別) (単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以 上
令和元年	160	1	1	19	15	26	22	23	25	23	5
令和2年	181	1	1	21	23	28	20	23	25	31	8
令和3年	99	-	1	10	17	10	10	11	22	18	-
習志野市	48	-	1	6	10	2	5	3	12	9	-
八千代市	34	-	-	2	5	7	4	7	5	4	-
鎌ヶ谷市	17	-	-	2	2	1	1	1	5	5	-

(6) 患者面接実施状況

表1－(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
令和元年	保健師	3	84	17	64	3	81	42	153	66	81	221	35	46	141
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	34	-	22	4	-	62	-	-	45
令和2年	保健師	1	22	13	10	-	6	55	115	5	71	410	2	26	141
	DOTS 支援員	1	2	-	2	-	-	-	18	4	-	44	1	-	18
令和3年	保健師	3	31	9	21	1	7	19	109	21	33	365	3	5	92
	DOTS 支援員	1	-	-	-	-	-	-	29	-	-	76	-	-	13
令和3年患者数 (人)			13						27			10			

(7) DOTS 実施状況

表1－(7) DOTS 実施状況 (単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺 結 核 患 者 (再 掲)		
					肺 結 核 患 者 (再 掲)	
令和元年	実施者数	43	33	10	37	
	患者数※	43	33	10	37	
令和2年	実施者数	54	39	17	19	
	患者数※	54	39	17	19	
令和3年	実施者数	38	27	9	10	
	患者数※	38	27	9	10	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象人数 (実人数) ①	実施人数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和元年	56	52	92.9	106	60	5	41	-	-	48	1	3	-	-
令和2年	46	44	95.7	69	39	2	28	-	-	38	-	6	-	-
令和3年	26	26	100	48	29	-	19	-	-	21	1	3	1	3.8
保健所				41	23	-	18	-	-					
委託分				7	6	-	1	-	-					
その他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象人数 (実人数) ①	実施人数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和元年	378	361	95.5	436	270	-	166	-	-	343	9	9	-	-
令和2年	316	302	95.6	335	241	-	94	-	-	291	-	11	-	-
令和3年	435	433	99.5	560	320	-	240	-	-	422	10	1	-	-
保健所				287	225	-	62	-	-					
委託分				262	95	-	167	-	-					
その他				11	-	-	11	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表1- (9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
令和元年	173	152	87.9	293	221	36	36	65	87	-	-
令和2年	160	119	74.4	232	172	30	30	45	74	-	-
令和3年	135	120	88.9	197	168	15	14	52	68	-	-
保健所				17	17	-	-				
委託分				171	142	15	14				
その他				9	9	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1- (10) -ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況 (37条の2) (単位: 件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
令和元年	131	126	5	47	45	2	13	13	-	28	27	1	34	32	2	9	9	-	-	-	-
令和2年	111	110	1	37	37	-	-	-	-	26	25	1	40	40	-	8	8	-	-	-	-
令和3年	92	92	-	34	34	-	3	3	-	16	16	-	31	31	-	8	8	-	-	-	-

表1- (10) -イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況 (37条) (単位: 件)

区分 年	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族				
令和元年	12	2	1	2	6	1	-
令和2年	20	5	-	5	7	3	-
令和3年	20	3	-	2	12	2	1

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年	総数
令和元年	16
令和2年	34
令和3年	18

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
令和元年	12	12	30
令和2年	19	19	23
令和3年	15	15	36

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

年	入院措置数
令和元年	1
令和2年	-
令和3年	-

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA 検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位:件)

区分 年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学児	小学生	その他
令和元年	-	5	2	3	-	2	1	-
令和2年	-	2	2	-	-	2	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-

表1-(12)-イ IGRA 検査実施状況 (単位:件)

区分 年	IGRA 検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
令和元年	272	58	288	2	24	16
令和2年	204	75	261	1	17	-
令和3年	248	101	331	-	18	-

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況 (単位:件)

区分 年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
令和元年	114	301	103	101	11	200
令和2年	58	217	43	64	15	153
令和3年	97	310	80	168	17	142

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況 (単位:人)

年 区分	項目	対象者数①	健診者数②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
	令和元年		159,844	60,596	37.9	20,251	40,345	38	6	5
令和2年		160,044	53,899	33.7	8,821	45,050	29	-	1	0.0019
令和3年		159,027	52,653	33.1	6,881	45,782	32	3	-	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	16,613	15,242	91.7	3,332	11,910	-	-	-	-
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	1,914	1,828	95.5	384	1,444	-	-	-	-
	施設長 その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	17,151	15,962	93.1	3,165	12,807	32	3	-	-
	市町村長	123,349	19,621	15.9	-	19,621	-	-	-	-

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1 - (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場所	形態	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
令和3年10月 25日	小中学校、高等学校、大学、 専門学校 高齢者施設 病院、助産所、診療所、歯科 診療所	リーフ レット 配布	結核の知識 向上と蔓延 予防	小中学校、高 等学校、大 学、専門学校 高齢者施設 病院、助産 所、診療所、 歯科診療所	662 施設

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2－(1) 1類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和3年	－	－	－

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2－(2) 2類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和3年	－	－	－

(3) 3類感染症発生状況

表2－(3) 3類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

病類 年・市町村	総数	病類				
		コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和元年	5	0	0	5	0	0
令和2年	5	0	0	5	0	0
令和3年	7	0	1	6	0	0
習志野市	4	0	1	3	0	0
八千代市	2	0	0	2	0	0
鎌ヶ谷市	1	0	0	1	0	0
その他 (管外)	0	0	0	0	0	0

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和元年	令和2年	令和3年
1	E型肝炎	0	1	5
2	ウエストナイル熱	0	0	0
3	A型肝炎	2	0	0
4	エキノコックス症	0	0	0
5	黄熱	0	0	0
6	オウム病	0	0	0
7	オムスク出血熱	0	0	0
8	回帰熱	0	0	0
9	キャサヌル森林病	0	0	0
10	Q熱	0	0	0
11	狂犬病	0	0	0
12	コクシジオイデス症	0	0	0
13	サル痘	0	0	0
14	ジカウイルス感染症	0	0	0
15	重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。)	0	0	0
16	腎症候性出血熱	0	0	0
17	西部ウマ脳炎	0	0	0
18	ダニ媒介脳炎	0	0	0
19	炭疽	0	0	0
20	チゲングニア熱	0	0	0
21	つつが虫病	0	1	1
22	デング熱	1	0	0
23	東部ウマ脳炎	0	0	0
24	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9) を除く)	0	0	0
25	ニバウイルス感染症	0	0	0
26	日本紅斑熱	0	0	0
27	日本脳炎	0	0	0
28	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
29	Bウイルス病	0	0	0
30	鼻疽	0	0	0
31	ブルセラ症	0	0	0
32	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
33	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
34	発しんチフス	0	0	0
35	ボツリヌス症	0	0	0
36	マラリア	0	0	0
37	野兔病	0	0	0
38	ライム病	0	0	0
39	リッサウイルス感染症	0	0	0
40	リフトバレー熱	0	0	0
41	類鼻疽	0	0	0
42	レジオネラ症	11	4	7
43	レプトスピラ症	0	0	0
44	ロッキー山紅斑熱	0	0	0

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和元年	令和2年	令和3年
1	アメーバ赤痢	1	2	0
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	1	0
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9	7	2
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	8	7	6
6	クリプトスポリジウム症	0	0	0
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	0
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	1
9	後天性免疫不全症候群	0	0	1
10	ジアルジア症	0	0	0
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	0
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0
13	侵襲性肺炎球菌感染症	3	5	1
14	水痘(入院例に限る。)	1	1	0
15	先天性風しん症候群	0	0	0
16	梅毒	16	18	24
17	播種性クリプトコックス症	0	0	0
18	破傷風	3	0	0
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
21	百日咳	31	2	2
22	風しん	21	0	1
23	麻しん	5	0	0
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	0	0

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
16	10	2	3	1	0

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

	疾患名	令和元年	令和2年	令和3年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,495	2,023	1
2	RSウイルス感染症	284	14	762
3	咽頭結膜熱	246	75	50
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,095	456	148
5	感染性胃腸炎	2,072	887	765
6	水痘	282	120	86
7	手足口病	2,012	45	60
8	伝染性紅斑	369	29	6
9	突発性発しん	214	182	155
10	ヘルパンギーナ	501	54	72
11	流行性耳下腺炎	71	49	47
12	急性出血性結膜炎	1	0	0
13	流行性角結膜炎	141	48	15
14	性器クラミジア感染症	66	68	72
15	性器ヘルペスウイルス感染症	4	5	4
16	尖圭コンジローマ	2	2	3
17	淋菌感染症	21	14	32
18	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	0	1	0
21	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
22	無菌性髄膜炎	0	0	0
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14	7	8
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	46	53	37
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

(イ) 病原体定点

表2-(5)-イ- (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	2	1	1
検体提供数 (件)	0	0	0	4

(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況

表2-(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾 患 名	人 数	市 町 村
令和3年	新型コロナウイルス感染症	9,102	習志野市
		9,778	八千代市
		3,740	鎌ヶ谷市
		7,766	その他(管外)

(7) その他

表2-(7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位:件)

年度 区分	区分	届出 施設数	届出 患者数	措 置			
				学級 閉鎖数	学年 閉鎖数	休校数	その他
令和元年度		51	1,233	143	6	0	0
令和2年度		0	0	0	0	0	0
令和3年度		0	0	0	0	0	0
幼稚園		0	0	0	0	0	0
小学校		0	0	0	0	0	0
中学校		0	0	0	0	0	0
高等学校		0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和3年度	-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況(結核は除く)

年 度	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和3年度	-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感 染 症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	
令和元年度	8	24	0	-	2	2	6	22	0	-	0	-	5
令和2年度	4	20	0	-	0	-	4	20	0	-	0	-	0
令和3年度	9	20	0	-	0	-	9	20	0	-	0	-	1

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和3年度	つつが虫病	1
	E型肝炎	5
	レジオネラ症	7

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和3年度	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3
	急性脳炎	5
	風疹	3
	無菌性髄膜炎	2
	RSウイルス	31
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	20
	百日咳	1

カ 新型インフルエンザ等感染症

表2-(8)-カ 新型インフルエンザ等感染症健康調査状況

区 分	疾 患 名	調 査 (人)
令和3年度	新型コロナウイルス感染症	21,574

(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

区 分 年 度	総 数	管 外 で の 感 染 症 発 生 に 伴 う 調 査 数 (人) (検疫通報除く)	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 及 び 同 行 者 調 査 数 (人)	検 便 実 施 者 数 (件)	検 出 菌 (件)			
					コ レ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
令和元年度	71	71	2	73	0	0	0	5
令和2年度	2	2	0	0	-	-	-	-
令和3年度	1	1	0	1	0	0	0	0

(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数

表2-(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数 (単位:件)

年 度	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
令和3年度	新型コロナウイルス感染症	1,842	6,447	8,289
	腸管出血性大腸菌感染症	2	18	20
	感染性胃腸炎	21	2	23

(11) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年度	疾患名				計
	腸管出血性 大腸菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	新型コロナウ イルス感染症	
令和元年度	5	0	0	-	5
令和2年度	3	0	0	2,902	2,905
令和3年度	8	0	0	30,028	30,036

表2-(11)-イ 入院勧告通知数 (単位:件)

区分 年度	疾患名	計
	新型コロナウイルス感染症	
令和元年度	2	2
令和2年度	630	630
令和3年度	1,569	1,569

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会

表2-(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
令和3年 12月27日	習志野保健所	個人防護服着脱指導研修会	習志野市 八千代市 鎌ヶ谷市	9

イ 市・医療機関、社会福祉施設、学校等への支援状況

新型コロナウイルス感染症の施設等 269 件に対し調査及び感染拡大防止のための指導を行った。

ウ 感染症情報ネットワーク事業

週ごとに管内の感染症発生状況を取りまとめ、管内の医療機関、社会福祉施設、市及び消防本部等の関係機関に対し毎週情報提供を行った。

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数(人)	主な内容
実施なし		

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数(人)	主な内容
令和3年4月5日 令和3年4月13日	25	新型コロナウイルス感染症患者の積極的疫学調査及び個人防護服着脱訓練について
令和3年8月26日・9月2日・9日・16日・23日・30日	各13	新型コロナウイルス感染症患者の訪問看護及び訪問診療について
令和3年10月21日	13	新型コロナウイルス感染症患者の訪問依頼したケースの評価及び今後の対策について
令和3年10月18日	16	新型コロナウイルス感染症対策習志野地区会議
令和3年10月19日	8	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等に係る連携事業に関する担当者会議
令和3年10月29日	8	

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数(人)
実施なし					

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い講演会・講習会の実施なし

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) -イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実施日	主 な 内 容
令和 3 年 11 月 11 日	管内小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校の計 95 校へ STI に関するリーフレットを郵送にて配布。(市立学校は各市教育委員会を通じて配布) 合計 92 部配布した。

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
令和元年度		電話相談	3	2	5	288
		来所相談	189	94	283	
		その他	0	0	0	
令和2年度		電話相談	84	23	107	111
		来所相談	4	0	4	
		その他	0	0	0	
令和3年度		電話相談	61	25	86	86
		来所相談	0	0	0	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別			外 国 籍 者数(再)	確 認 検 査 件 数
		男	女	合 計		
令 和 元 年 度		187	93	280	7	1
令 和 2 年 度		-	-	-	-	-
令 和 3 年 度		-	-	-	-	-
年 齢 階 級	～19 歳	-	-	-	-	-
	20 歳～29 歳	-	-	-	-	-
	30 歳～39 歳	-	-	-	-	-
	40 歳～49 歳	-	-	-	-	-
	50 歳～59 歳	-	-	-	-	-
	60 歳～	-	-	-	-	-
	不 明	-	-	-	-	-

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い検査を休止した。

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

検査 性別 年度	クラミジア 検査			梅毒検査			淋病検査			肝炎検査					
										C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和 元年度	260	177	83	275	185	90	-	-	-	278	185	93	279	185	94
令和 2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 3年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

※淋病の検査は令和2年度から実施している。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い検査を休止した。

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位: 件)

年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和元年度	176(5)	-	5	-	8	173(5)
令和2年度	173(5)	-	1	-	12	162(5)
令和3年度	162(5)	-	3	-	9	156(5)
習志野市	57(1)	-	1	-	2	56(1)
八千代市	65(2)	-	2	-	3	64(2)
鎌ヶ谷市	40(2)	-	-	-	4	36(2)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位: 人)

年 度	施 設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和元年度	保健所	前期	175	15	8.6	11
		後期	175	16	9.1	12
	委託医療機関		-	57	-	15
令和2年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	30	-	13
令和3年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	28	-	11

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位: 件)

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数		150	147	144
医療特別手当		4	3	3
特別手当		4	4	4
原子爆弾小頭症手当		-	-	-
健康管理手当		133	127	125
保健手当		3	2	2
介護手当		-	-	-
葬祭料		6	11	10
健康手当		144	136	134

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。